

# 山行報告書

報告書作成

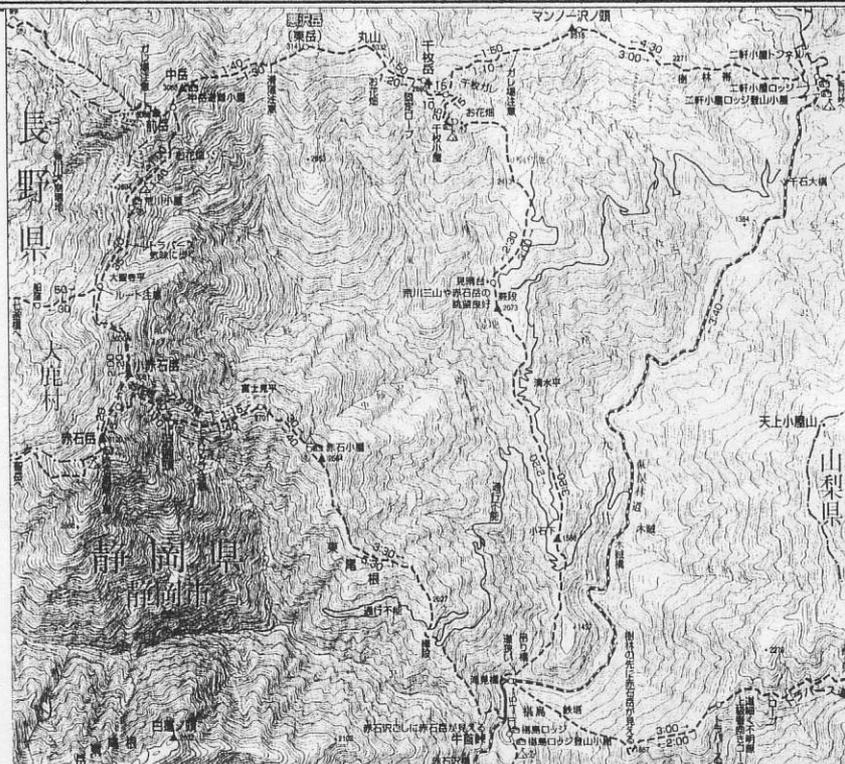
2005年8月21日

山名 [山域]	悪沢岳・赤石岳	目的と方法	南アルプスから展望及び縦走
登山期間	2005年8月12日～8月14日	山行形態	前夜泊2泊3日
参加人数	3人		

## 行動記録

8/11 旧岡崎市民病院跡地PKG(18:00)＝田代(21:30)  
 [8/12(金)曇り] 畑薙臨時PKG(6:00,7:10)＝榎島 (8:00,8:10)＝小石下(10:05,10:15)＝清水平(11:40,12:00)＝千枚小屋(15:50)  
 [8/13(土)曇り] 千枚小屋(5:13)＝千枚岳(6:13,6:50)＝悪沢岳(8:45,9:07)＝荒川中岳・前岳(10:30,11:20)＝荒川小屋(12:30,12:55)＝大聖寺平(13:30,13:40)＝小赤石岳(15:25,15:35)＝赤石岳避難小屋(16:30)  
 [8/14(日)晴れ] 赤石岳避難小屋(5:30)＝赤石岳(5:35,5:50)＝富士見平(8:10,8:20)＝赤石小屋(8:50,9:10)＝樺段(10:30,10:40)＝榎島(12:40,13:30)＝畑薙臨時PKG(14:30,14:50)＝赤石温泉(15:10,15:50)＝旧岡崎市民病院跡地PKG(21:30)

## 概念図



## 日誌

[8/11] 岡崎より順調に走り田代(大無間山登山口P.)に到着、田代でテント泊トイレ(水洗)有  
 [8/12] 田代から東海フォレストのシャトルバス発着所(夏季は臨時駐車場・百数十台駐車可・トイレ有・テント場スペース有)に到着。始発は8:10だが混雑時は、一時間前に一便が出る、それに乗る事が出来榎島に着く、身支度をして登山開始、登山口は少し分かり難いので、注意したい。平坦な登山道が暫く続いて、つり橋を渡ると登り道になる、樹林帯の中を汗を拭いながら行くと、中間点の清水平に着く、清水平は水場が有冷たく美味しい水です。千枚小屋までもうひと頑張り、途中にシラビソの原生林があり丁度ガスがかかり幻想的な景色でした。千枚小屋は水場・テント場・トイレ有  
 [8/13] 千枚小屋からはお花畑を登って行くと千枚岳に着く、千枚岳からも登山道沿いにお花畑が続き暫く行くと、待望の悪沢岳山頂に到着。眺望はガスがかかり今一、山頂から急斜面を下り、登り返して中岳に着くと、雷鳥の親子が迎えてくれました。前岳を往復して、下りにかかる、斜面一面のお花畑を見ながら荒川小屋に着く、荒川小屋は水場・テント場・トイレ有。荒川小屋から大聖寺平までは、山腹を巻く平坦な登山道が続く、大聖寺平からはガレ場の斜面を登る。午後からの登りはきつく、小休止を繰り返して登る。遠方から雷が聞こえて来るが、歩調を速めることが出来なかったが、幸いにも雷雨に合わずに赤石岳避難小屋に到着した。赤石岳避難小屋はトイレ(有料100円)・夏季のみ軽食有  
 [8/14] 赤石岳避難小屋前でご来光を拝み、赤石岳山頂へ、山頂でブロッケン現象を始めて体験した。今日は大倉尾根の下り、赤石小屋まではガレ場の下りで、赤石小屋からは急斜面の大下りです。膝等に気をつけて降りました。予定の時間に榎島に到着しました。シャトルバスに乗るため、時間が気にかかりました。

## 感想

登山道沿いに凄なお花畑(タカネピランジ、ウサギギク、マツムシソウ、トリカブト、トウヤクリンドウ、ヨツバシオガマ、ミヤマダイコンソウ、ヤマハハコ、ミネウスユキソウ、イワギキョウ、ハクサンフウロ等)特にタカネピランジの白と薄ピンクの花が綺麗でした。赤石岳山頂で、ブロッケン現象を初体験した。本等では知っていたが、百聞は一見にしかず。

参加者名

改定:2003.07.09